

令和3年度

札幌市白石老人福祉センター

事業計画

札幌市白石老人福祉センター指定管理者
社会福祉法人 札幌市社会福祉協議会

令和3年度札幌市白石老人福祉センター事業計画

I 基本方針

- 1 職員の専門性を活かした包括的な支援・サービスの提供を行うとともに誰もが平等にサービスを受けることが出来るよう支援する。
- 2 老人福祉センターを拠点としたボランティア活動の充実と高齢者の社会参加する機会を提供する。
- 3 利用対象者のみならず、地域の方々とも交流が出来るような場を提供する。
- 4 各区社会福祉協議会等関連機関との更なる連携強化を図る。
- 5 老人福祉センター周辺の地域性による臨機応変な取組を支援する。
- 6 講座・サークル活動の取組みを支援する。
- 7 更なる経費縮減を図る。

II 計画目標値

- 1 全体利用者数
年間 55,000人（前年度目標値：60,000人）
- 2 老人福祉センター利用者アンケート
 - ・ 回答数 70人以上
 - ・ 総合満足度 80%以上
 - ・ 接遇に関する満足度 75%以上

III 業務実施計画

- 1 高齢者に対する生活相談等に関する業務（専門家相談事業を含む）

(1) 目的・ねらい

随時、利用者や家族等からの、生活、福祉、住宅等の様々な相談を受け、適宜、的確な状況把握や援助を行うとともに、専門的対応や緊急対応が必要な場合においても、本会の専門性を活かした連携により、悩みごとや不安の解消に向けて、積極的に支援する。

(2) 実施内容（予定）

項目	内容	実施時期	相談受付者
生活・福祉 相談	日常生活の悩み事、困り事の相談 介護保険制度や福祉施設、認知症等の相談 医療や福祉のよろず相談	通年実施	館長 社会福祉士 介護支援専門員 各職員 介護福祉士等

専門家相談事業 ① 住宅、資産運用などの相談	無料の講話と個別相談内容は、高齢者住宅の相談・老後の資産運用やお金に関する相談等	通年実施	住まいのサポートセンター 金融機関等
② 法律相談	遺産相続・遺言書の書き方等	2月及び 第三月曜日	行政書士
③ 就労相談	高齢者就労機会相談 就業サポート事業 相談会の開催（新規）	調整中	シルバー人材センター 就労サポートセンター
④ 健康相談と栄養相談	認知症サポーター養成講座や免疫力を高める健康講座の中で実施	調整中	各種専門職

(3) 専門家相談事業の目標数値

- ・ 実施回数 4回以上/年
- ・ 参加人数 トータル60人以上（15人以上/1回）
- ・ 満足度 80%以上

2 健康相談・機能訓練に関する業務（講演・運動等事業）

(1) 目的・ねらい

高齢者自身の健康管理や介護予防への関心はますます高まる傾向にあることから、そのニーズを的確に捉え専門性を活かした取組を実践する。

(2) 実施内容

	項目	内容	実施時期	実施回数 (年)
運動等事業	ふまねっと運動	網の形の用具を利用し運動することで、脳トレや転倒を予防する	第四火曜日	12回 程度
	スマイルクラブ	介護予防自主サークル活動の推進事業 筋力・脚力等の低下防止	第一・第三 木曜日	24回 程度
	体が強い人のヨガ	誰でも気軽に参加できるヨガ（新規）	毎月第1,3 月2回 調整中	24回 程度
	元気アップ講座	健康習慣の獲得を目指し、体操やレクレーションを実施	月 2回	24回 程度
	ラジオ体操	1日1回以上 第2体操も実施	通年	開館日

	健康講話	専門職による講話	調整中	6回 程 度
講 演 等 事 業	栄養教室	管理栄養士による栄養教室	調整中	6回 程 度
	認知症サポーター 養成講座	認知症について学習し、「認 知症サポーター」を養成する オレンジリング配付	調整中	2回 程 度
	ひだまり知っ得講座	健康増進の啓蒙とセンター 活動の周知につながる知っ て得する講座	不定期	24回 程 度
	お気軽講座	白石区介護予防センターに よる脳を活性化させるトレ ーニングや体操	調整中	2回 程 度

・口腔機能の向上を目指す「お口の健康教室」 ・新生活様式における「元
気で生きるための片づけ術」 ・防災講座 等を予定。

(3) 目標数値

- ・ 実施回数 50回以上/年
- ・ 参加者数 15人以上/回
- ・ 満足度 80%以上

3 浴室業務

(1) 実施内容

平日の午後 1 時から午後 4 時まで、浴室利用を実施する。
(7月からは月・水・金曜日の浴室利用予定)

(2) 目標数値

利用者数 2,520/年(前年度目標値3,840人)

4 教養講座の開講に関する業務

(1) 目的・ねらい

健康増進や教養の向上等に関する多彩な講座を開講し、利用者の生涯学
習意欲の増進を図り、常に利用者ニーズを掌握しながら、スクラップアン
ドビルドを原則に、ニーズを反映した講座を開催する。

(2) 実施内容

分類		講座名	実施回数 (月)	定員
健康増進	2月募集	ヨガ	2回×2 (2部制)	30名
		健美操(5月開講)	2回	30名
	自由参加	舞踊~2か月ごと講師 (流派)交代	3回	25名
		社交ダンス 初級、中級に分ける	3回	各25名
		カーリコン	2回	25名
教養向上	2月募集	皮革工芸	3回	12名
		絵手紙	2回	18名
		健康マージャン 4月より3か月間全10回	3~4回 (2部制)	各32名
	自由参加	アレンジメントフラワー (3月募集予定)	2回 (10月まで 10回)	6名

*すべての事業は、感染予防対策(短時間で人数を絞って2部制にする等)を図り、安全を確保したうえで実施する。全講座定員有。

*書道、園芸の短期講座を予定。

*発声や飛沫を伴う講座は、札幌市の許可が出た段階で再開する。

合唱、やさしい英会話、オカリナ、カラオケ、民謡、詩吟等

(3) 目標数値

- ・ 申込率 定員に対して80%以上
- ・ 満足度 80%以上

5 レクリエーション・各種行事の開催等に関する業務

(1) 目的・ねらい

利用者の健康増進、生きがいづくり及び豊かな生活の実現を支援するため、卓球や囲碁・将棋など各種活動の場を提供し、相互交流の輪を拡げるとともに、季節感のある四季折々の行事に加え、地域に根ざし開かれたセンターとして、協働行事や地域開放行事、世代間交流行事を展開しながら、地域住民同士の交流や地域住民とセンターとの連携強化を促進する。

(2) 実施内容

実施時期	行事名	内容	定員
4月	定員制教養講座開講		
	ひだまり知っ得講座	健康講話等	年24回程度
	映画・DVD鑑賞会	映画・宝塚歌劇団のミュージカル鑑賞1回目	年12回
5月	春の交通安全教室	高齢者の交通安全（北海道・白石警察署）	5月
6月	運営協議会	令和3年度第1回	
	春の避難訓練	通報・避難誘導等総合訓練	年2回
	運営協議会	令和3年度第1回	
7月	マンドリンコンサート	マンドリンアンサンブルそよ風による演奏	調整中
	熱中症についての講習会	高齢者の脱水と熱中症についての講習	—
8月	栄通児童会館との交流会	実施方法について調整が必要	—
	札幌国際大学卓球交流	同上	—
	地域合同世代間交流納涼盆踊り大会	同上	—
9月	高齢者福祉週間行事	実施方法について調整が必要	—
	秋の交通安全教室	白石区交通安全推進委員会	—
	住民胃がん大腸がん検診	白石区保健福祉部地域保健課主催	—
	冬囲い講習会	縄の結び方等を学習し、樹木で冬囲いの実習をする	—
10月	社会見学会等	駒岡日帰りバスレク	—
	秋の避難訓練	通報・避難誘導等総合訓練	—
	文化祭行事	作品展示会、映画鑑賞会	—

	札幌市出前講座	検討中	—
	消費者トラブル、悪質商法についての講座	札幌市消費者センター	—
12月	住民集団検診	白石区保健福祉部地域保健課主催	—
	札幌市出前講座	検討中	—
	年末大掃除/利用者懇談会/ゆず湯	検討中	—
	栄通児童会館合同新春行事	実施方法について調整が必要	—
1月	スノーキャンドル&ゆきだるま制作	同上	—
2月	節分豆まき	同上	—
	スノー&アイスキャンドル点灯式	同上（栄町児童会館と共同）	—
	令和4年度定員制教養講座受講生募集		—
	運営協議会	令和3年度第2回	—
	度定員制教養講座受講生決定	抽選会	—
3月	令和3度講座修了発表会	実施方法について調整が必要	—

* 作品展示会については実施時期及び方法について要検討

(3) 目標数値

- 申込率 定員に対して80%以上
- 満足度 80%以上

6 高齢者の活動支援及び地域開放に関する業務

(1) 目的・ねらい

「施設開放取扱要領」に基づき、センターの空き室を「高齢者の活動支援」を目的に、老人クラブや講座修了の受講生、町内会等が主催する「ふれあい・いきいきサロン」等に積極的に開放し、健康づくり活動や

趣味のサークル活動、地域活動等を支援する。

(2) 実施内容

空き室の有効利用として、連合町内会、単位町内会等の地域団体への開放を積極的に行い、各団体による地域の福祉活動、住民活動の促進を支援する。

7 その他施設の設置目的を達成するために必要な業務

(1) ボランティアの育成及び活動支援

ア 目的・ねらい

白石区社会福祉協議会との連携により、引き続き、ボランティア養成講座を実施し、地区のニーズに合った人材を発掘・育成し、ボランティア活動の振興・普及を支援する。

イ 実施内容

名 称	内 容	実施時期 (予 定)
ボランティア養成講座 の開催	老人福祉センター利用者にボランティアに興味を持ってもらえる講座を開催する	10月
ひだまりサークル活動 支援事業	得意分野のボランティア講師希望の方に教室を提供し、サークル社会参加の機会を提供する。	希望時 4月 より教室開 放予定

(2) 地域との連携

ア 目的・ねらい

地域協働の行事を開催し、地域に根ざしかつ開かれたセンターづくりを推進する。

イ 実施内容

項 目	内 容	実施時期
地域合同美化活動	地域町内会と協働で実施	5月 10月

ウ 目標数値

地域との連携行事を年1回以上開催

(3) 一人暮らしの高齢者等の見守り活動の推進

ア 目的・ねらい

福祉のまち推進センターとの連携を強化し、一人暮らし高齢者の引きこもり防止や、生きがい支援に向けて、センターの教養講座やサークル

活動、レクリエーション等各種行事への参加・利用を呼びかけ、他の利用者との交流や趣味活動の機会を持つことで、地域との関わりを保ちながら暮らしていけるよう支援する。

イ 実施内容

名 称	内 容	実施時期 (予 定)
地域見守りサポーター養成講座の開催協力	高齢者世帯の孤立死等を防止することを目的に、日常生活の中で「なにげなく気にかける」程度の見守りを行う「地域見守りサポーター」を養成する。	12月
福祉のまち推進センターとの連携	一人暮らし高齢者へのセンター利用の呼びかけ依頼等	通年実施

(4) 障がい者関係団体との連携強化

ア 目的・ねらい

障がい者の生活課題を啓発し、理解・支援を広めることにより、高齢者と障がい者が、相互に支え合えるよう取り組む。

イ 実施内容

センターで開催される講座や教室等に、札幌市の出前講座当を活用し、障がい者コミュニケーション条例・手話言語条例のポイントを学ぶ。

名 称	内 容	実施時期 (予 定)
「障がい者コミュニケーション条例・手話言語条例を知ろう」	障がいのある人とのコミュニケーションについて知る	8月

(5) 文集等の発行

ア 目的・ねらい

老人福祉センター利用者等による文芸創作活動の発表と、文芸を通しての交流の場として、市内10館の各老人福祉センターをはじめ、札幌市長生園及び札幌市保養センター駒岡の施設合同による文集「輝き」を発行する。

イ 実施内容

随筆、詩、俳句、短歌、川柳、その他文芸作品（思い出の写真、短編小説、コント等）を利用者から投稿していただく。（年1回の実施）

ウ 目標数値

年1回の発行

IV 広報活動

当該業務については、札幌市と連携しながら、リーフレット、情報誌の作成・配布、ホームページの開設・更新、その他の必要な施設のPRや情報提供を行います。

- 1 センターだより、リーフレット（老人福祉センターごあんない、さっぽろの社協）等による周知
 - ※ 毎月、センターだよりを関係団体等に配布する。
 - ・地元町内会
 - ・まちづくりセンター
 - ・地区センター
 - ・区民センター
 - ・区体育館
 - ・区社会福祉協議会
 - ・区役所、南郷交番、消防署等
- 2 ホームページによる周知
 - ・老人福祉センターの利用案内、施設紹介
 - ・各種行事、イベントの案内
 - ・センターだよりやお知らせの掲載（適宜更新）
- 3 広報さっぽろ、イベント冊子掲載による広報
- 4 区社協だより、福まち広報誌掲載による広報
- 5 令和2年度より、機関誌は白石区内のまちづくりセンターと地区センターへ庁内メールにて配布
- 7 地域新聞、ふりっぱー等の地域情報誌掲載による広報
- 8 FMしろいしによる、センターと定員制講座について広報（毎年定員制講座募集前に出演令和3年度は未定）
- 9 南郷会館への地域開放事業のポスター、機関誌の掲示と南栄会館や近隣商店への配布の継続

V 重点事業の実施計画

令和3年度の運営にあたり、「社会参加の促進」「生きがいつくりの推進」「世代間協調への理解」を最重点テーマに、以下の項目を新たに取組みます。

1 「ひだまりあったか事業」について

<事業の目的>

新型コロナの感染拡大の影響により、利用者はより一層外出機会の減少や孤立、心身機能低下が進んでいます。地域と連携しながら、皆様にセンター機能を最大限に活用していただくことで、生きがいつくりや健康寿命の延伸を目指す事業。

<事業内容>

- (1) やりたいこと、できることを見つけるサポートが受けられる事業
 - ・ちょっとボランティアの推進：
センターの環境整備にかかわること～草取り、ごみ拾い、雑巾縫い等
 - ・センター利用者の活動支援：
特技を伝えたい方への機会と場所の提供支援、センター事業へのボランティア参加等について検討する。
 - ・就労につながる活動支援：
シルバー人材センター以外の就業説明会の実施の検討、有償ボランティア講習の実施について検討する。
- (2) 「ひだまり知っ得講座」の実施
 - ・月2～3回、健康や生活上の様々な知って得する情報を提供する。
- (3) 魅力ある活動を実施し、新規センター利用者を増やし外出の機会を提供する。

2 センター行事、講話等の充実

- (1) 介護予防に関するイベントの充実（健康講話、運動指導等）
- (2) 将来的にリモートの導入による地域開放やサークル間の情報交換、イベントの開催などを検討する。
- (3) 運動系の講座の充実のため、「ヨガ講座効果測定事業」を実施する
<ヨガ講座の効果測定事業開催要領>
 - 目的 利用者の自身の健康に対する意識啓発と、センターで運動系の講座を実施するにあたり、実施効果の測定と分析を行う事でより効果的、効率的な講座運営を目指す。
 - 測定期間 令和3年4月～令和4年3月までの間に4回
1回目：実施前の4月 2回目：実施3か月後の7月
3回目：実施6か月後の10月 4回目：実施12か月後の令和4年3月
 - 測定実施者 北海道大学大学院保健科学研究院 基盤看護学分野老年看護学
結城美智子教授とゼミの学生
 - 内容
個人情報保護を厳重に行い、北大の倫理委員会審査をうけた内容を実施
a) アンケート
 - ・基本属性
(年齢、性別、世帯構成、生活習慣、現状歴、処方薬服用等について)
 - ・心の健康 ・睡眠 ・他者との交流 ・生活の質
 - b) 測定項目（〇は、さらに検討中）
 - ・認知機能テスト（10項目のインタビュー） ・身長、体重 ・握力

・体組成 ○歩行テスト ○片脚立テスト ○5回椅子立ち上がりテスト

- 測定対象
 ヨガの効果を測定するには、ヨガ教室に参加していない、文化系の講座参加者や、入浴利用者等、同じ人数（60名程度）に対して、同じ調査を実施する。
- 周知方法
 講座講師、測定利用者への周知については依頼文を作成し、協力をお願いする。
- その他
 ・新型コロナウイルス感染症感染状況によって講座が実施できない場合は、アンケートを中止する場合がある。

令和3年度札幌市白石老人福祉センター自主事業計画書

札幌市白石老人福祉センターの管理運営を実施するほか、利用者への利便の提供、利用者の社会参加を図ることを目的として、次の事業を行う。

1 自動販売機による販売

(1) 目的

老人福祉センター利用者へ利便性を提供することを目的とする。

(2) 事業内容

札幌市白石老人福祉センター内に自動販売機1台を設置し、各種飲料を販売する。

(3) 販売品目

缶ジュース、缶コーヒーなどのソフトドリンク。

2 喫茶コーナーによるコーヒー販売

(1) 目的

老人福祉センター利用者の交流を促進し、仲間づくりの機会を提供するとともに、高齢者の社会参加促進に寄与することを目的とする。

(2) 事業内容

ア 高齢者のボランティアによりコーヒーの販売を行う。

イ 平日の午前10時から午後3時以内とする。ただし、行事等を開催する場合は平日に限らず実施し、時間を延長する場合もある。

ウ コーヒー一杯の販売価格は100円(消費税込)とする。なお、原材料等の変動により変更する場合がある。

令和3年度札幌市白石老人福祉センター自主事業収支計画書

<事業名:自動販売機による販売>

単位:千円

項目		事業費	備考
収入	自動販売機手数料	48	月4,000円×12月
	合計	48	
支出計			
	行政財産の目的外 使用料	44	
	合計	44	
収支		4	

令和3年度札幌市白石老人福祉センター自主事業収支計画書

<事業名:高齢者による喫茶コーナー運営>

単位:千円

項目		事業費	備考
収入	売上(販売収入)	720	100円×14,400杯
	合計	720	
支出計	消耗・備品費	36	消耗品
	諸謝金	360	ボランティア実費弁償
	器具什器費	72	什器
	雑費	252	豆等
	合計	720	
収支		0	

様式1 令和3年度札幌市白石老人福祉センター収支計画書(総括表)

単位:千円

1 収入

項目	予算額	摘要
指定管理費	43,092	
利用料金収入	504	
その他の収入(指定管理業務)	44	
その他の収入(自主事業)	768	
収入計(A)	44,408	

2 支出

大項目	中項目	小項目	予算額	摘要
指定管理業務	管理費	人件費	1,255	
		物件費	4,197	
		小計	5,452	
	事業費	人件費	19,621	
		物件費	17,741	
		小計	37,362	
指定管理業務計		42,814		
自主事業	管理費	人件費		
		物件費		
		小計	0	
	事業費	人件費		
		物件費	764	
		小計	764	
自主事業計		764		
受託事業	管理費	人件費		
		物件費		
		小計	0	
	事業費	人件費		
		物件費		
		小計	0	
受託事業計		0		
支出計(B)			43,578	

3 収支

項目	金額	摘要
当期利益(A-B)	830	
自主事業による利益還元(C)	0	
法人税等(法人税、住民税及び事業税)(D)	830	
当期純利益(A-B-C-D)	0	

注)

- 1 施設において自主事業として実施した、札幌市その他の機関や団体からの受託事業がある場合には、当該受託事業をその他の自主事業と区分して記載してください。(様式2以下についても同様です。)
- 2 収入の表は、様式2に基づき作成してください。なお、行が足りない場合は、適宜追加してください。
- 3 支出の表は、様式3に基づき作成してください。
- 4 収支の表の法人税等欄については、予想される税金の額を記載してください。

様式2 令和3年度札幌市白石老人福祉センター収支計画書(収入)

1.利用料金収入

単位:千円

区分	単位	利用料金 (単価:円)	利用回数	予算額	備考
浴室	回	200	2,520	504	
総計				504	

- 注) 1 行が足りない場合は、適宜追加してください。
2 税込で記載してください。

2.指定管理業務の事業収入、自主事業収入、受託事業収入

白石

単位:千円

項目	事業名(科目)	予算額	摘要
指定管理 業務	その他の収入	44	コピー料収入他
		指定管理業務事業収入計	44
自主事業	手数料収入	48	自販機手数料
	喫茶事業収入	720	喫茶収入
	自主事業収入計	768	
受託事業			
	受託事業収入計	0	
事業収入計		812	

- 注) 1 項目毎に、事業単位で記載してください。
 2 行が足りない場合は、適宜追加してください。
 3 税込で記載してください。
 4 自主事業において札幌市その他の機関や団体からの補助金の交付を受ける予定がある場合には、摘要欄に補助金の交付元名、補助事業名、補助率等を簡潔に記載してください。
 5 受託事業欄は、様式1(注1)の事業について記載し、摘要欄には委託元名を記載してください。

様式3 令和3年度札幌市白石老人福祉センター収支計画書(支出)

単位:千円

項目	科目	指定管理業務		自主事業		受託事業	
		管理費	事業費	管理費	事業費	管理費	事業費
人件費	給料手当	1,255	11,268				
	臨時雇賃金		5,615				
	福利厚生費		97				
	法定福利費		2,641				
	人件費計	1,255	19,621	0	0	0	0
物件費	旅費・交通費		60				
	研修費		15				
	消耗品・備品費		194		36		
	印刷製本費		178				
	光熱水費		2,922				
	燃料費		3,408				
	修繕費		700				
	通信運搬費		274				
	広告宣伝費		0				
	委託費		6,514				
	支払手数料		6				
	保険料		61				
	賃借料・使用料		249				
	租税公課		170				
	諸謝金		2,292		360		
	給食費		0				
	保健衛生費		135				
	被服費		25				
	教養娯楽費		120				
	器具什器費		245		72		
	教育指導費		100				
	車両費		0				
	雑費		73		252		
本部経費	4,197						
行政財産の目的外使用料				44			
物件費計	4,197	17,741	0	764	0	0	
支出計	5,452	37,362	0	764	0	0	

注)

- 1 行が足りない場合は、適宜追加してください。
- 2 税込で記載してください。
- 3 管理費、事業費を区分する際の考え方は次のとおりとします。
 - ・管理費:施設における事業を管理するために経常的に要する費用。管理部門の費用など。
 - ・事業費:施設における事業の目的のために直接要する費用で管理費以外のもの。
- 4 受託事業欄は、様式1(注1)の事業について記載してください。
- 5 自主事業、受託事業において事業数が複数の場合、各事業の合計額を記載してください。

様式5 令和3年度収支計画書(支出)の内訳(物件費)

白石

単位:千円

1 指定管理業務

科目	予算額		摘要
	管理費	事業費	
旅費・交通費		60	連絡交通費、タクシー代
研修費		15	職員研修参加費
消耗品・備品費		194	事務用消耗品・備品
印刷製本費		178	諸用紙印刷
光熱水費		2,922	電気、水道料
燃料費		3,408	ガス料(暖房・入浴用)
修繕費		700	各所修繕費
通信運搬費		274	電話、郵便料
広告宣伝費		0	
委託費		6,514	各業務委託料、保守料
支払手数料		6	
保険料		61	施設賠償保険等
賃借料・使用料		249	コピー機、輪転機等賃借料
租税公課		170	租税公課、印紙等
諸謝金		2,292	講師謝礼金等
給食費		0	
保健衛生費		135	衛生材料等
被服費		25	
教養娯楽費		120	新聞、行事費用等
器具什器費		245	事業用器具類等
教育指導費		100	施設サービスアップ費用等
車両費		0	
雑費		73	給茶器用茶等
本部経費	4,197	0	
行政財産の目的外 使用料		0	
計	4,197	17,741	

注)

- 1 行が足りない場合は、適宜追加してください。
- 2 税込で記載してください。
- 3 摘要欄には各科目の支出の概略を記載してください。

2 自主事業

科目	予算額		摘要
	管理費	事業費	
旅費・交通費			
研修費			
消耗品・備品費		36	喫茶用消耗品
印刷製本費			
光熱水費			
燃料費			
修繕費			
通信運搬費			
広告宣伝費			
委託費			
支払手数料			
保険料			
賃借料・使用料			
租税公課			
諸謝金		360	喫茶ボランティア実費弁償
給食費			
保健衛生費			
被服費			
教養娯楽費			
器具什器費		72	喫茶用什器
教育指導費			
車両費			
雑費		252	喫茶用コーヒー等
拠点区分間繰入金 支出			
行政財産の目的外 使用料		44	自販機使用料・加算料
計	0	764	

注)

- 1 行が足りない場合は、適宜追加してください。
- 2 税込で記載してください。
- 3 摘要欄には各科目の支出の概略を記載してください。